

コンクリート内部空洞調査 (初期欠陥調査)

状況やご要望に応じて適切な調査手法をご提案します

CASE 1 豆板(ジャンカ)が発生してしまった!



周囲の内部は健全?

非破壊で確認できないか?

CASE 2 打継不良が発生してしまった!



内部の打継部は健全?

非破壊で確認できないか?

超音波...弾性波...電磁波レーダ...レントゲン...

どんな調査をすれば良いの? 調査後はどんな補修方法がいいの?



コンクリートに関する調査・試験・補修提案・補修工事は、弊社までご相談ください

調査方法の詳細はウラ面へ▶

株式会社 土木管理総合試験所 社会基盤マネジメント部

〒387-0001 長野県千曲市雨宮2347-3
TEL:026-462-0416 FAX:026-272-3588

DK note(事業紹介・サービス情報)はこちら
<https://service.dksiken.co.jp>



土質調査や環境調査などを手掛ける土木管理総合試験所では、国内最大級の3つのラボを所有し、各種調査やコンクリート構造物の非破壊試験など、お客様の対応範囲拡大をサポートしています。



土質試験 非破壊試験 環境調査 測量 地質調査 物理探査 対策工事

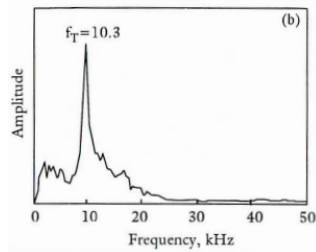
衝撃弾性波法 (透過法、多重反射法)

適用範囲: 1m~70m (iTECSは2.5m程度)

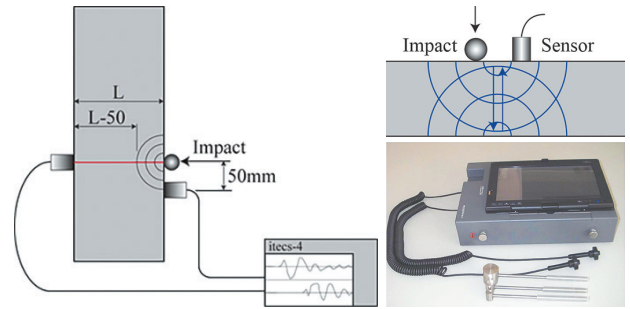
検出範囲: ピンポイント (透過法) ~ 広範囲 (多重反射法)

鉄筋の影響を受けにくい、凹凸の激しい箇所では実施不可 (はつり面での実施は不可)

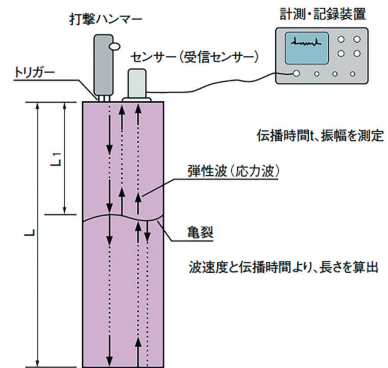
インパクトエコー



ITECS法



オーリス (-AURIS-非破壊調査システム)



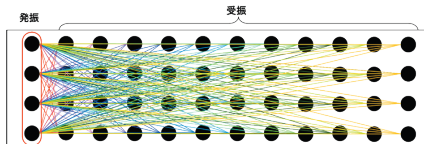
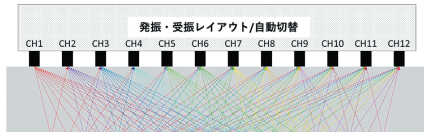
超音波法 (トモグラフィー)

適用範囲: ~最大2.0m程度 (配筋状態などによる)

検出範囲: 機械幅 (10cm×30cm程度) の範囲内

凹凸の激しい箇所では実施不可 (はつり面での実施は不可)

MIRA



パンジット

